

演劇・映画の専門図書館

公益  
財団法人

SHOCHIKU OTANI LIBRARY

# 松竹大谷図書館ニューズレター

■ No. 254(2019年5月) ■

令和元年5月10日発行

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 4月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『平成代名残絵巻』	○			
	『新版歌祭文 座摩社・野崎村』	○			
	『寿栄藤末廣 鶴亀』				
	『御存鈴ヶ森』	○		○	○
	『源平布引滝 実盛物語』	○			
	『猿翁十種の内 黒塚』	○			
	『二人夕霧 傾城買指南所』	○			
新橋演舞場	『滝沢歌舞伎ZERO』				
幕張メッセ	ニコニコ超会議『超歌舞伎 今昔饗宴千本桜』	○		○	
南座	『都をどり』				
松竹座	『トリッパー遊園地』	○		○	○
	OSK日本歌劇団『レビュー 春のおどり』			○	○
御園座	『通し狂言 南総里見八犬伝』	○		○	
金丸座	『義経千本桜 すし屋』	○			
	『新作歌舞伎 心中月夜星野屋』	○			
	『傾城反魂香 土佐将監閑居の場』	○		○	
	『高坏』	○			
地方巡業 (公文協 中央コース)	『二代目松本白鸚・十代目松本幸四郎襲 名披露口上』			○	
	『菅原伝授手習鑑 加茂堤・車引』	○			
	『奴道成寺』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂RED/THEATER	3月	劇団5454『ト音』プログラム
大阪新歌舞伎座	3月	『前川清・神野美伽スペシャルゲスト松居直美』プログラム
吉祥寺シアター	4月	オフィス上の空6団体プロデュース『1つの部屋のいくつかの生活』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	4月	劇団民藝『新・正午浅草 荷風小伝』プログラム、台本
国立劇場大劇場	3月	特別企画公演『浅草 祭礼行事と浅草寺の声明』プログラム
		琉球芸能公演『組踊と琉球舞踊』プログラム
ザ・スズナリ	4月	プレオム劇プロデュース『脚光を浴びない女』プログラム
シアターX	4月	『カフカの猿』プログラム
シアタークリエ	3月	『十二番目の天使』プログラム
シアタートラム	3月	劇団東演『ワレリー・ベリャコフヴィッチのマクベス』プログラム、台本
	4月	conSept『いつか one fine day』プログラム
シアター風姿花伝	3月	パラボックス定数『Das Orchester』プログラム
下北沢駅前劇場	4月	企画集団マッチポイント『ヒトハミナ、ヒトナミノ』プログラム
下北沢小劇場B1	4月	大森カンパニープロデュース『更地SELECT SAKURA III』プログラム

(新着資料案内 他社演劇公演資料 続き)

DDD青山クロスシアター	4月	シーエイティプロデュース『BLUE/ORANGE』プログラム
中野ザ・ポケット	4月	『血と骨』プログラム
俳優座稽古場	3月	劇団俳優座『血のように真っ赤な夕陽』プログラム
博多座	4月	『めんたいびりり 博多座版 未来永劫編』プログラム
博品館劇場	3月	『Musical Red Hot & COLE』プログラム 『舞台ハンバーグができるまで』プログラム 『舞台版BLACK BIRD』プログラム
本多劇場	3月	加藤健一事務所『喝采』プログラム M&O PLAYS PRODUCE『クラッシャー女中』プログラム
明治座	4月	『ミュージカル ふたり阿国』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『あぜくら』2019年4月号	『座・高円寺』No. 21
『ほうおう』2019年6月号	『大向う』令和元年5月号
『ジョイン』No. 93	『伝統文化新聞』155号
『テアトロ』2019年5月号	『日本照明家協会誌』2019年4月号
『ラ・アルプ』2019年5月号	『日本舞踊』71巻5月号
『演劇界』2019年6月号	『悲劇喜劇』2019年5月号
『喝采』2019年7月,7月特別号,8月	『邦楽の友』令和元年5月号
『御園座演劇図書館Newsletter』Vol.13,Vol.14	

■ 映画雑誌 ■

『NFAJニューズレター』2019年4月-6月号	『シナリオ』2019年6月号
『NFAJプログラム』No. 11, No. 12	『シナリオ教室』2019年5月号
『SCREEN』2019年6月号	『ピクトアップ』2019年6月号
『TVガイド』2019年4/5号,4/12号,4/19号, 4/26号,5/3号	『映画テレビ技術』2019年5月号
『おとなのデジタルTVナビ』2019年6月号	『映画時報』2019年5月号
『エキブ・ド・シネマ』No. 225, No. 226	『日経エンタテインメント!』2019年5月号
『キネマ旬報』2019年5月上・下旬合併号	『文化通信ジャーナル』2018年11月号,12月号, 2019年5月号

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『劇場版 響け！ユーフォニアム 誓いのフィナーレ』	○				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

『バースデー・ワンダーランド』	『シャザム!』	『僕たちのラストステージ』
『マックイーン：モードの反逆児』	『PRINCE OF LEGEND』	
『ダンボ』	『ハロウィン』	『ブラック・クラズマン』
『ハンターキラー 潜航せよ』	『バイス』	『ある少年の告白』
『キングダム』	『バンブルビー』	『名探偵コナン 紺青の拳』
『映画クレヨンしんちゃん 新婚旅行ハリケーン 失われたひろし』		『ビリーブ 未来への大逆転』

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書 籍 ■

『川島雄三は二度生まれる』	川崎公平＋北村匡平＋志村美代子（編）	水声社
『前田敦子の映画手帖』	前田敦子（著）	朝日新聞出版
『昭和映画屋渡世 坊ちゃんプロデューサー奮闘記』	斎藤次男（著）	ごまめ書房
『矢島信男伝 東映特撮物語』	矢島信男（著）	洋泉社
『アクション映画バカー代』	谷垣健治（著）	洋泉社
『年鑑代表シナリオ集'17』	日本シナリオ作家協会「'17年鑑代表シナリオ集」出版委員会（編）	日本シナリオ作家協会
『マンガ・アニメで人気の「聖地」をめぐる神社巡礼』	岡本健（監修＋著）	エクスナレッジ
『アニメなんでも図鑑』	鈴木伸一（監修）	ポプラ社
『テレビ東京50年史』	テレビ東京社史編纂分科会（編）	テレビ東京
『野田秀樹×鎌田浩毅 劇空間を生きる 未来を予見するのは科学ではなく芸術だ』	野田秀樹＋鎌田浩毅（著）	ミネルヴァ書房
『写真の歴史に学ぶ 未来への物語』	是松忍（著）	講談社エディトリアル
『秋錦會 日本赤十字社基金募集 芸術祭参加名流邦楽舞踊』		[毎日新聞社]
『和太鼓のひみつ 鳴るしくみ・歴史から打ち方の基本まで』	小野美枝子（監修）	PHP研究所
『永山武臣・泰子夫妻 対談集』	岡崎哲也（編＋文）	私家版
『演劇プロデューサーという仕事 「第三舞台」「劇団☆新感線」はなぜヒットしたのか』	細川展裕（著）	小学館
『ふじのくににせかい演劇祭2014公式ガイドブック』		静岡県舞台芸術センター
『新開場記念 南座』	南座宣伝部（編）	松竹

資料をご寄贈くださった方々（敬称略・順不同／2019年2月～3月）

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、東宝株式会社映像事業部、演劇出版社、キネマ旬報社、こまつ座、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、株式会社日本舞踊社、国立劇場、博多座、国文学研究資料館、日本大学芸術学部演劇学科、日本映画テレビプロデューサー協会、帝国劇場、山風呂洋、鈴木千枝子、シアタークリエ、一般社団法人日本民間放送連盟、デアゴスティーニ・ジャパン、株式会社カモミール社テアトロ編集部、伝統文化新聞、和泉書院、劇団民藝、劇団仲間、(株)CLIE、人形劇団プーク、銀座 博品館劇場、オペラシアターこんにゃく座、下野公久、流山児★事務所、武中雅人、明治座、若林さだ吉、御園座演劇図書館、(株)近代映画社、公益社団法人日本照明家協会、おもだか会、おとなのデジタルTVナビ編集部、邦楽の友社、日本映画撮影監督協会、愛知県芸術劇場、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、シナリオ・センター、歌舞伎学会、独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）、銀座百店会、関口研日曆、株式会社ADKクリエイティブ・ワン、有限会社合同通信社、樽松大剛、明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻、丸善出版株式会社、公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、横島昇、園田学園女子大学近松研究所、株式会社東急文化村、(公財) 可児市文化芸術振興財団、株式会社文学座、丹野達弥、古城十忍、公益財団法人日本近代文学館、立命館大学アート・リサーチセンター、山口博哉、公益社団法人日本演劇協会、OMS 戯曲賞事務局、一般社団法人日本演出者協会、朝日新聞出版、日本劇作家協会、公益社団法人日本劇団協議会、公益社団法人企業メセナ協議会、京都精華大学マンガ学部小泉真理子、国立歴史民俗博物館

どうもありがとうございました

第76回所蔵資料展示

生誕90年 オードリー・ヘプバーン 展

展示期間：2019年4月26日～6月26日／於 閲覧室

本年5月4日に生誕90年を迎える、オードリー・ヘプバーン。現在でも根強い人気を誇るハリウッド女優です。1929年、ベルギー・ブリュッセルに生まれたオードリー・ヘプバーンは、少女期よりバレエを学び、モデルなどをして働きながら、20歳頃には小さな役で舞台や映画に出演するようになります。そして、モナコ公国のホテル“オテル・ドゥ・パリ”で、映画『NOUS IRONS A MONTE CARLO』の撮影をしていたとき、フランスの女流作家コレットに見いだされて、コレット原作の舞台『ジジ』の主役に抜擢され、1951年にブロードウェイの舞台に立ち評判となりました。その後、ウィリアム・ワイラー監督の『ローマの休日』（1953年）で主演デビューし、この作品で1953年度（第26回）アカデミー賞主演女優賞を受賞するという快挙を遂げ、一躍人気スターとなります。また、1954年のブロードウェイの主演舞台『オンディーヌ』で、演劇のアカデミー賞といわれるトニー賞を受賞しており、オードリーは映画と演劇両方で、名誉ある賞を受賞している数少ない女優でもあります。映画2作目はビリー・ワイルダー監督の『麗しのサブリナ』で、以来、『昼下りの情事』、『ティファニーで朝食を』、『マイ・フェア・レディ』といった名作で、人々を魅了します。映画のなかで魅せた髪型「ヘプバーンカット」や「サブリナ・パンツ」などのスタイルも常に注目の的で、ファッション・アイコンとしても影響を及ぼしました。晩年はユニセフの親善大使としても活動しましたが、病に冒され、1993年1月20日63歳で、スイスの自宅にて逝去、遺作はスティーヴン・スピルバーグ監督作『オールウェイズ』（1989年）の天使役でした。

当館では、外国映画のプログラム、スチール写真、プレスシートなどを所蔵しています。今回の展示では、オードリー・ヘプバーンの出演作品から様々な資料を展示します。

■展示資料一覧■

雑誌「キネマ旬報」1954年2月下旬号(84号)

表紙：オードリー・ヘプバーン

●『ローマの休日』日本公開前、表紙に掲載されたオードリーの写真

プログラム『ローマの休日』1954年4月公開/アメリカ

ウィリアム・ワイラー(監督)／共演：グレゴリー・ペック、エディ・アルバート

プログラム『麗しのサブリナ』1954年9月公開/アメリカ

ビリー・ワイルダー(監督)／共演：ハンフリー・ボガート、ウィリアム・ホールデン

雑誌「映画の友」1956年6月号 表紙：オードリー・ヘプバーン

プログラム『戦争と平和』1956年12月公開/アメリカ・イタリア

キング・ヴィダー(監督)／共演：ヘンリー・フォンダ、メル・ファーラー

スチール写真『昼下りの情事』1957年8月公開/アメリカ

ビリー・ワイルダー(監督)／共演：ゲイリー・クーパー、モーリス・シュヴァリエ

雑誌「キネマ旬報」1963年2月決算特別号(332号)

表紙：『ティファニーで朝食を』（1961年11月公開）のオードリー・ヘプバーン

スチール写真『シャレード』1963年12月公開/アメリカ

スタンリー・ドーネン(監督)／共演：ケイリー・グラント、ウォルター・マッソー

プログラム『マイ・フェア・レディ』1964年12月公開/アメリカ

ジョージ・キューカー(監督)／共演：レックス・ハリソン、スタンリー・ホロウェイ

プログラム(1971年再映)『おしゃれ泥棒』1966年11月公開/アメリカ

ウィリアム・ワイラー(監督)／共演：ピーター・オートウール、シャルル・ボワイエ

プログラム『暗くなるまで待って』1968年5月公開/アメリカ

テレンス・ヤング(監督)／共演：アラン・アーキン、リチャード・クレンナ

スチール写真『ロビンとマリアン』1976年8月公開/イギリス

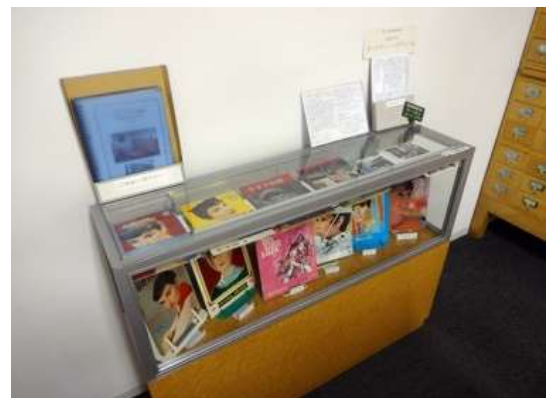
リチャード・レスター(監督)／共演：ショーン・コネリー、ロバート・ショウ

図書『決定版 オードリー・ヘプバーン』デラックスカラーシネアルバム(1)

1986年7月芳賀書店発行 渡辺祥子(責任編集)



展示資料選定のため休館中に閲覧室の机に並べた、オードリー・ヘプバーン表紙の映画雑誌





≫≫ お知らせ

## ■『シアターアーツ』63号で松竹大谷図書館が紹介されています

5月1日発行の雑誌『シアターアーツ』最新63号(2019春)掲載の鳩羽風子氏のレポート「演劇の記憶を未来へつなぐ場所をたどって」にて、早稲田大学演劇博物館、新国立劇場 情報センター、座・高円寺 演劇資料室と並んで当館をご紹介頂きました。資料の整理方法からクラウドファンディングによる資金募集まで、写真入りで約2ページにわたって、当館の取り組みについて取り上げて頂きました。

『シアターアーツ』は1994年12月創刊の演劇批評誌で、当館は1号から63号まで全て所蔵しています。



最新63号の情報はこちら

<http://theatrearts.aict-iatc.jp/201905/5860/>

## ■組上燈籠絵「め組のけんくわ組上とふろう」複製完成形展示 & 文庫本カバー販売中!

当館が所蔵する「め組のけんくわ組上とふろう」(明治年間発行)の複製の組上完成形を、歌舞伎座「團菊祭五月大歌舞伎」での『神明恵和合取組 め組の喧嘩』上演を記念して、5月末まで当館閲覧室内で展示しております。歌舞伎座、新橋演舞場などでご観劇の際は、是非当館閲覧室にもお立ち寄り下さい。

組上燈籠絵の画像は【松竹大谷図書館所蔵「組上燈籠絵」検索閲覧システム】でご覧頂けます。[キーワード]に「め組」と入力して検索してみてください。

また、こちらの組上の複製は販売しておりませんが、この組上のデザインの文庫本カバーは、当館閲覧室と歌舞伎座場内「1階お土産処木挽町」で販売しています。他に、「松竹歌舞伎屋本舗」の通販もご利用頂けます。



当館閲覧室にて展示中の「め組のけんくわ組上とふろう」複製の組上完成形(部分)

↓松竹歌舞伎屋本舗 文具のページ

<http://kabukiyahonpo.com/shop/c/cbungu/>

↓松竹歌舞伎屋本舗かわら版 紹介ページ

<https://kabukiyahonpo.tumblr.com/search/%E6%96%87%E5%BA%AB%E6%9C%AC%E3%82%AB%E3%83%90%E3%83%BC>



左の組上燈籠絵「め組のけんくわ組上とふろう」が、右の写真のようにデザインされて、文庫本カバー「め組のけんか」として販売されています! 切り取る部分がピンク色に彩られており、とてもカラフルでポップです。持っていると目立つこと間違い無しのカバーです!

## ■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

**公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。**

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）  
2019（平成31）年4月にご支援いただきました

### 法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

有限会社合同通信社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



### ■ 編集後記 ■

▼史上初の10連休は、みなさまいかがお過ごしでしたか？ さて今月号は、元号が令和となつて、初めてのニュースレターです。発行日の令和表記にまだ慣れませんが、平成がそうだったように、これから次第に馴染んでいくのでしょうか。

当館は、昭和33〔1958〕年7月1日に開館しており、昨年で開館60周年でしたので、昭和と平成、それぞれの時代をほぼ30年ずつ経てきたこととなります。令和の時代も、昭和や平成と同じくらい、またはそれ以上の年月を活動できるよう、スタッフ一同がんばってまいりたいと思います。みなさまのご来館を心よりお待ちしております！



### ● 利用案内 ●

**開館時間**  
平日午前10時～午後5時

**休館日**

土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

**入館料** 館内閲覧のみ  
**閲覧料** 無料

### ● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分  
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / Tel. 03-5550-1694

公式 HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式 Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>